

編集後記

年明けから中国に赴任した製鉄マンの友人から「寒い、乾燥している、スモッグがひどいの3悪。わずか4日だけで鼻と喉をやられた」というメールが届いた。また、黄土高原で活発に緑化活動をすすめているNGOの情報によれば大同市付近は家庭の暖房やさまざまな工場で使う石炭の排煙が地上に満ち、その上に最近急増した自動車の排気ガスが加わり視界は50mに満たない状態であり、路上では痛くて目も開けられないという。石油価格の高騰もあり、豊富な石炭資源の大量使用が大気汚染を加速させているようである。環境よりも経済成長を優先した、かつてわが国もたどってきた道を歩いているのだろうか。

一方、こちらの正月はおだやかな天気恵まれ、犬を連れての散歩は、山紫水明、澄んだ青空に誘われて、ふだん行かないところまで範囲が広がった。歩き続けると、東日本では最古と言われる古墳群が丘陵の上に連なっている。3世紀後半から6

世紀にかけて作られたらしい。ちょうどその時期は中国大陸や朝鮮半島から、多くの渡来人が水稲の大規模灌漑や製鉄などの技術をもって日本列島に移住してきた時代であり、鉄製農機具の普及などにより穀物生産高は格段に上昇したといわれる。

今、国家をあげて環境改善に取り組んでいる中国に対して、日本も先に体験した公害克服のための技術を活かしたさまざまな支援がなされようとしている。製鉄マンの友人のミッションも環境に良い製鉄技術の伝授ではなかろうか、と思ったりした。

何をなすにもコミュニケーションは重要であるが、本86号は、中国の第3世代携帯電話方式TD-SCDMAに関する論文を二つ掲載することができた。アンリツもこれらの技術などにより、環境改善やオリンピック開催に努める中国をサポートできる、という嬉しい思いで暖かな陽射しを背に受けながら帰路をたどった。

(H.S.)

アンリツテクニカル編集委員

編集委員長／小野浩平

編集副委員長／吉田正典

編集事務局／篠原八郎

高橋良文

編集委員／玉川雅章

富田龍吉

中山詞夫

内野政治

原久夫

河野健治

金井誠之

城野順吉

石井重徳

浜田宏一

山崎安司

アンリツテクニカル

86

©アンリツ株式会社 2008 本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。本誌に記載した名称の中には、それぞれの会社が商標として使用している場合があります。

問合せ先 アンリツテクニカル編集事務局

〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1

アンリツ株式会社 R&D本部 企画部

TEL (046)296-6527

2008年3月31日 発行(年2回発行 非売品)

発行人 小野浩平

発行所 アンリツ株式会社

〒243-8555 神奈川県厚木市恩名5-1-1

TEL (046)223-1111

2008年3月28日 印刷

印刷所 アンリツ興産株式会社 デザイン・ドキュメントセンター

〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1